

農

Sports!

農

Life!

11

ダンススポーツ

互いを見つめて抱き寄せ合い、一瞬離れたかと思えば、また抱き寄せ合う。ともに70歳代の西尾幸悦さんと浅地明美さんは、ダンス歴30年ほどの大ベテランペア。さまざまに変化する動きを見せつつ、指の先まで意識した2人の踊りは情熱的かつ官能的だ。

専門はルンバやチャチャチャなどに代表される南米生まれのラテン。新型コロナウイルス禍で近年、競技会では中止が相次いだものの、第一線で活躍する姿は変わらない。練習はプロのダンサーに手ほどきを受けるレッスンを含めて週3、4日。一日2時間程度、汗をかくという。長く続けるコツは「楽しみながら踊ること」。ここでも両人は息ぴったりに声をそろえる。

高齢者がスポーツや文化活動で交流する全国健康福祉祭（ねんりんピック）に多く出場。2007年の茨城大会では神奈川代表として団体戦に出場し、チームの準優勝に貢献した。地元開催だった昨年の同大会でも健在ぶりを披露した。ターンが多く、激しい動きで知られるラテン。1分半以上も踊り続けるには体調管理が大事で、食事にも当然気を配る。浅地さんが「ヨーグルトなどの乳製品、野菜、クエン酸を使った飲み物も意識的に取っています」と話すと、

西尾さんは「野菜や魚中心の食生活」と言う。西尾さんは藤沢市内で居酒屋を経営、板前としても店に立つだけに地産地消にこだわっている。

JAさがみが運営する直売所「わいわい市藤沢店」にもよく足を運ぶという2人に、JAグループ神奈川から差し入れられたのはニンジンやカブといったカラフルな地場野菜。「これで当分頑張れる」という相方に、浅地さんは「西尾さんがまたねんりんピックを目指すというので、私も頑張って続けていきます」。2人のダンスはこれからも多くの人を魅了する。



西尾幸悦さん(75)
浅地明美さん(73)
*
藤沢市在住



JAグループ神奈川は、神奈川のアスリートを応援しています。